

エレファント・シンドローム

あるパンフレットに「エレファント・シンドローム」という言葉が掲載されていた。その言葉の不思議さに惹かれて、読んでみると大変有意義な教訓が示されていたので、かいつまんで紹介する。

【エレファント・シンドローム】

インドでは、成長した象を調教するとき、まず象を大きな竹に繋ぐ。

はじめ、象は自由を得るために、竹を揺さぶり引き倒そうとする。しかし、何日か苦闘したあげく、自分の努力が無駄だったことを悟る。

賢い象が一度そう悟れば、あとは簡単である。

地面に小さな杭をうち、これに象を繋いでおけるからだ。

「PMA (Positive Mental Attitude 積極的な心構え)」を失った象は、はじめに味わった無力感で、現状をただ受け入れるだけである。

あなたは「賢い象」になってはいけない。

さらに、「PMA (Positive Mental Attitude 積極的な心構え)」については、次の論述があった。（以下引用）

〈少しずつ熱くなっている「ぬるま湯」。あなたは、いつそこから飛び出すのですか？〉

最初に、簡単なクイズ。熱いお湯の中にカエルを入れると、さてどうなるだろう？

そう、答は「熱くてすぐ飛び出す」だ。

では、もう一問。

今度はぬるま湯の中にカエルを入れ、徐々に熱くしていくとどうなるだろうか？

なんと「ゆであがって死んでしまう」のである。

死に至るほどの熱さになっていることに気付かずに、飛び出すきっかけを失ってしまうからだ。これを間抜けなカエルと、あなたは笑えるだろうか？

実はこのエピソードには、人生の重大な教訓が含まれているのである。

「ぬるま湯」を、あなたの今の生活環境に置き換えてみてほしい。少しずつ熱くなっているのに気が付かずに、のんびり浮かんでいないだろうか？湯の温度があなたの内側にある大切ななにかを蝕んで、死に至らしめるまで。まして日本経済という社会環境は、確実にその温度を上げ、厳しさを増している。それでもあなたは現状に甘んじて、そこから抜けだそうと思わないだろうか？ぬるま湯を飛び出し、生き残るには、あなた自身の決断と勇気が不可欠だ。

（中略；スーパーマーケットの創始者、本田技研創立者のエピソードなど）

この成功者に共通しているのは、「PMA (Positive Mental Attitude 積極的な心構え)」だったのだ。今風に言えばポジティブ・シンキングである。

あらゆる逆境を乗り越える単純且つ不可欠な要素であるが、しかし、これを維持するこ

とは意外に難しいのだ。 (引用終わり)

さまざまな分野で「変革」「改革」「脱却」 . . . などと「今までとは異なる」ものへの変化が求められている昨今だが、当事者達が「ぬるま湯」の心地よさを漫然と享受していたのでは何も期待できないだろう。たいした成功者になれとまでは求めないが、今抱える多くの問題は当事者のPMAがあれば、解決の方向へ動くはずである。

我々のような「ものづくり」の世界でも、多くの変革が必要な時代へ既に突入していることは肌で感じているとおりである。

であれば、「PMA (Positive Mental Attitude 積極的な心構え)」を再度呼び起こす努力をしてみよう。そして決して「賢い象」にはならず、我々が創る物が、未来のニーズにキチンと応えられる物になるようにしたいものである。

以上